



GMPで管理された多種多様な分析機器を用いて、医薬品の品質分析を行う



応用医学研究所

培養細胞を用い、高分子医薬品の品質分析を行う

化合物安全性研究所



本社内にGLP適合施設を保有する



肌の水分量や色味などを測定する肌質計測機器類

エクサム

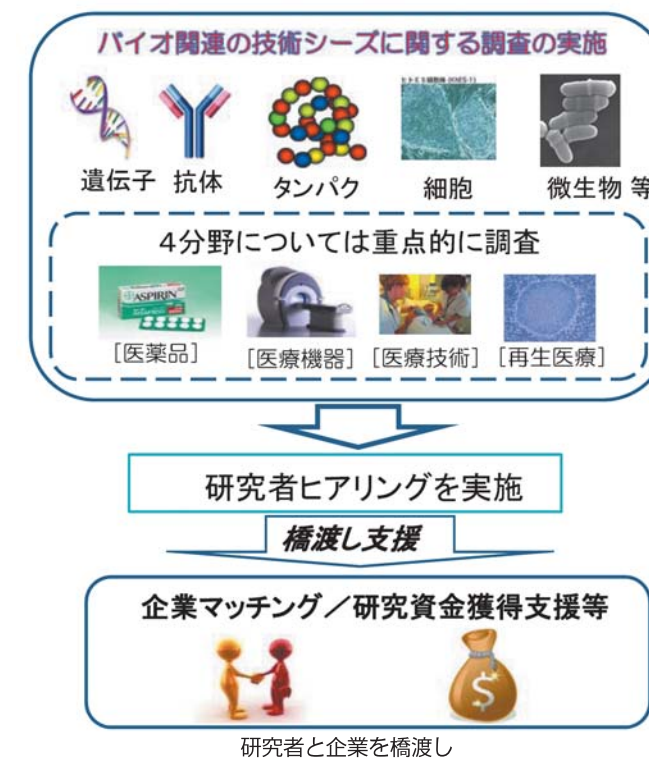
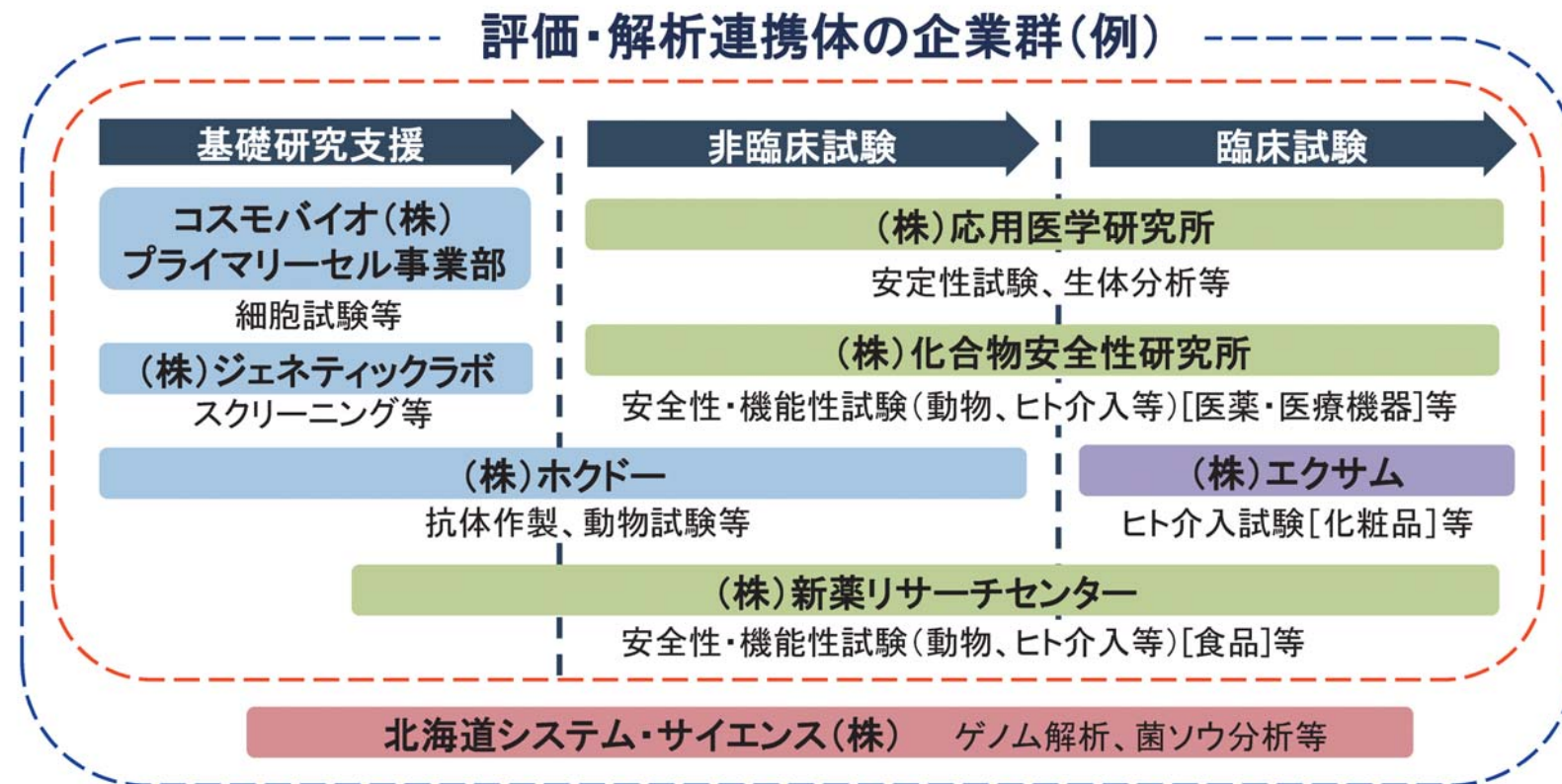


本社内に立ち上げた食品・化粧品試験の実施施設

新薬リサーチセンター



恵庭市内にある本社



## 道内企業が評価、解析の連携体構築

08年以降伸び悩んでいるが、医療・医薬分野。北海道経済産業局は、医薬品開発をワンストップで支援する企業連携体(コンソーシアム)を立ち上げ、道内の大学や研究機関が持つバイオ関連の研究シーズを掘り起こし、コンソーシアムで基礎研究から非臨床試験、臨床試験まで一括受注するほか、道外企業・研究機関が保有するシーズの実用化も支援する。

道内バイオ産業を横ばいが続く医療・医薬の取り組みを強化するため、評価・解析連携体を構築する。参画するのは、コスモバイオ、ジェネティックラボ、ホクドー、応用医学研究所、化合物安全性研究所、エクサム、新薬リサーチセンター、北海道システム・サイエンスの医療・食品の機能性・安全性評価を行う8社。

研究開発の川上から川下まで支援が可能となり、発注者側に対して、ワンストップサービスによる負担軽減や、決められた予算や期間内で必要なデータをそろえるためのコンサルティングによるスムーズな試験実施、納期の短縮などを提案する。また、企業間の連携を促し、受託拡大を狙う。

地域経済部バイオ産業課によると、個々の企業が地域で連携し、医療・医薬分野の各種評価業務を一括受託する枠組みは全国的にも初事例という。これらの会社は、道外企業から多くの案件を受注しており、道内企業間の連携を通じて、さらなる拡大を目指す。今年度中に体制を整備し、今後2〜3年でプロジェクトを進めていく考えだ。